

令和7年シラス曳網調査結果 (第10報)

令和7年8月19日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

8月18日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 28m)、
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

26.2°C~27.9°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 4~64 尾 (合計 121 尾)

今回のシラス採集数は前回調査時 (8月6日、0~230尾、合計 322尾) と比較し、減少しました。

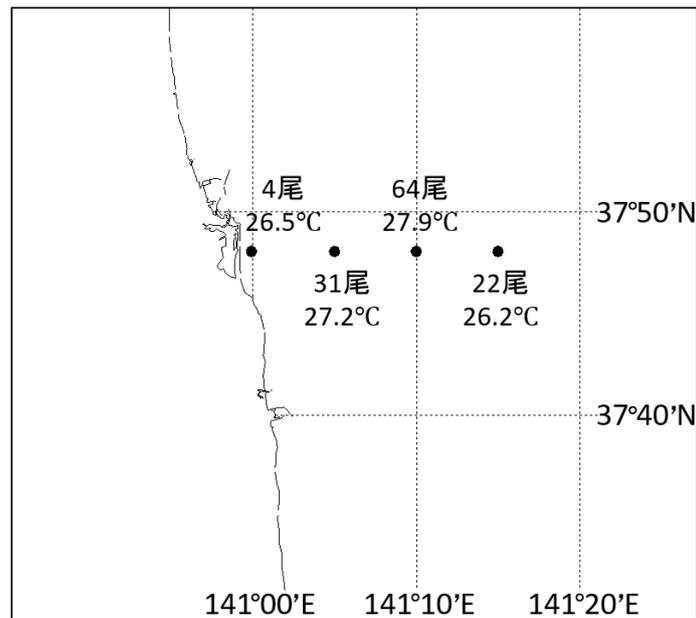


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：7.4～28.7mm

全長12mm前後、20mm前後の群のシラスが採集されました。

141-00Eでは12mm、20mm程度のシラス、141-05Eでは12mm前後の群のシラス、141-10E、141-15Eでは20mm前後の群のシラスが採集されました。

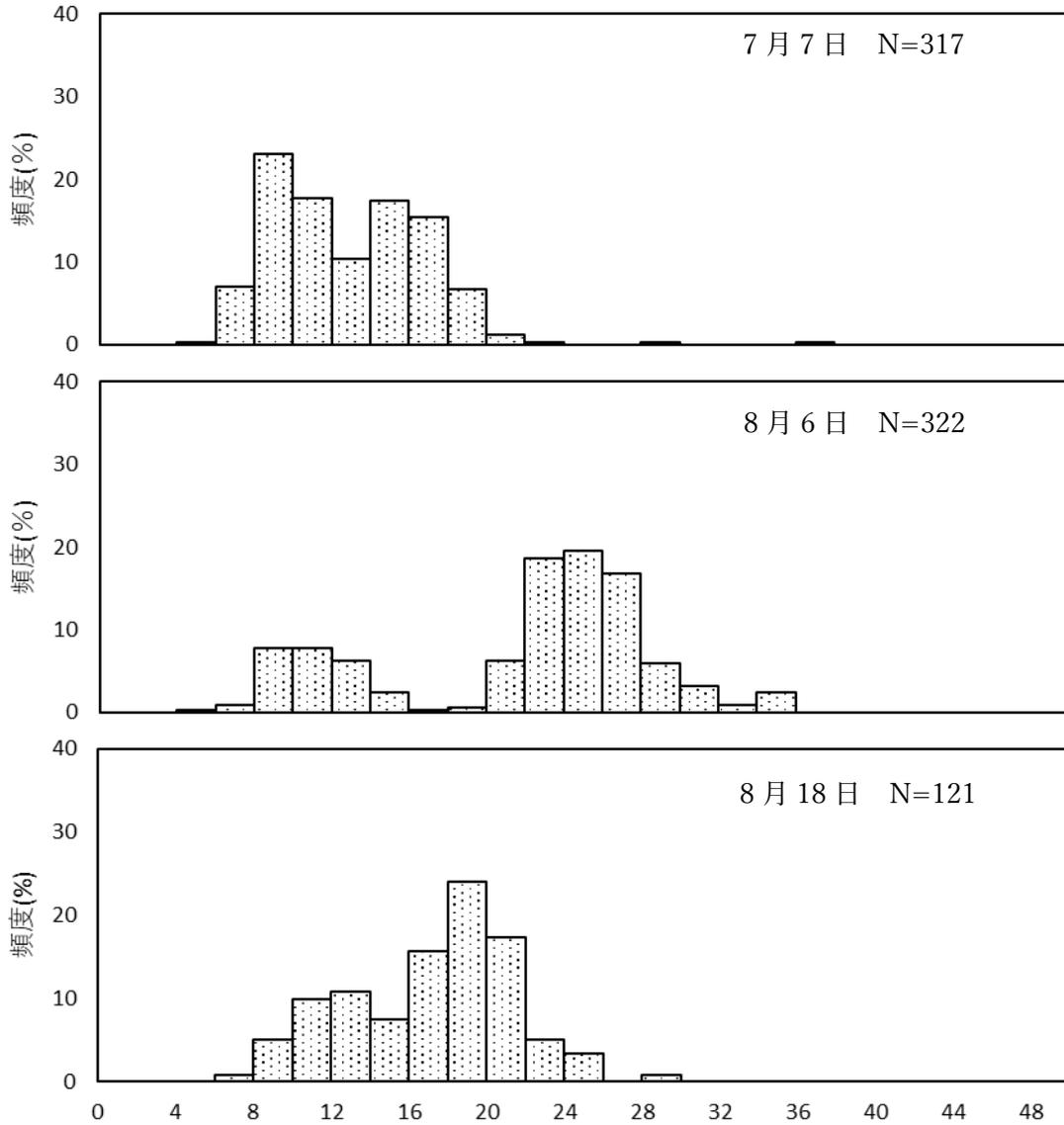


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和7年8月の1定点あたりのシラス採捕数は55.4尾/定点で、平成18年以降で4番目に少ない結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年は1月にいわき地区で約6t、相双地区で約36tの水揚げがありました。また、いわき地区では6月9日、相双地区では8月18日より漁が行われています。

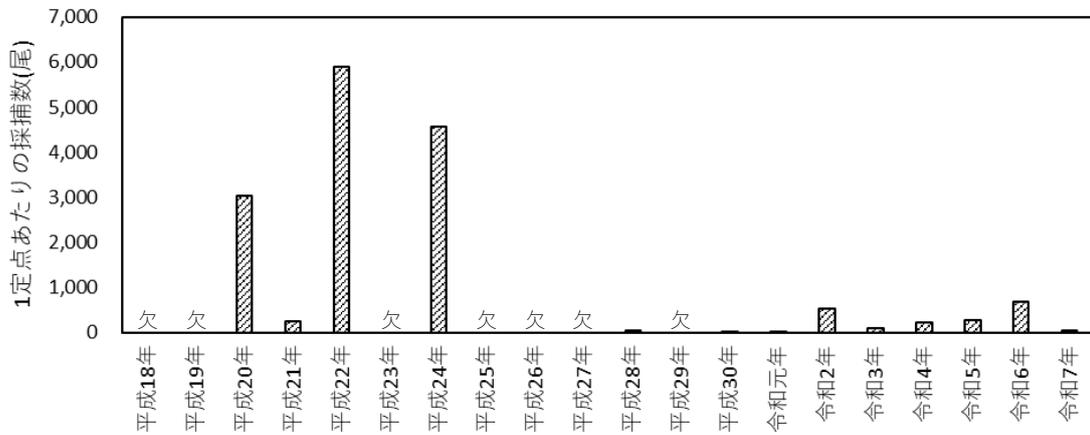


図3 相馬海域における8月の1定点あたりの採捕数

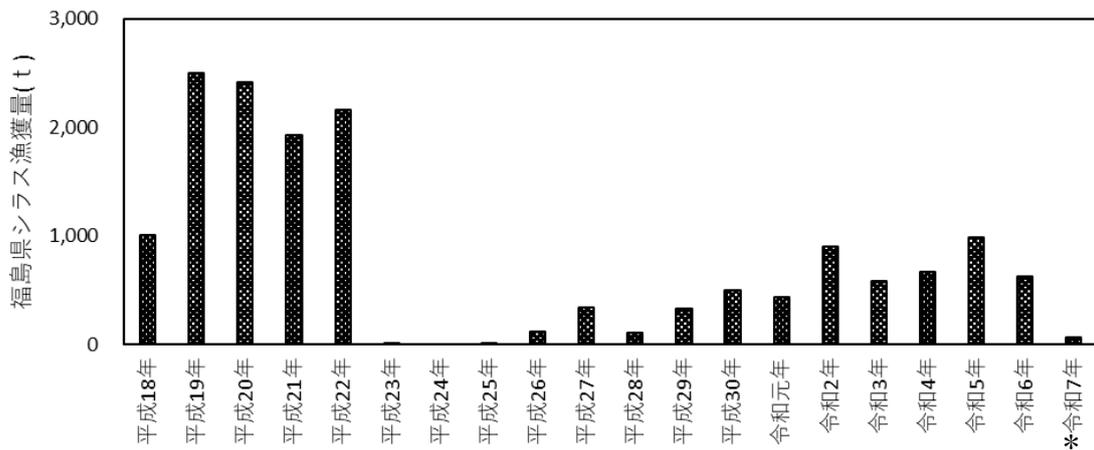


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*7月31日までの速報値